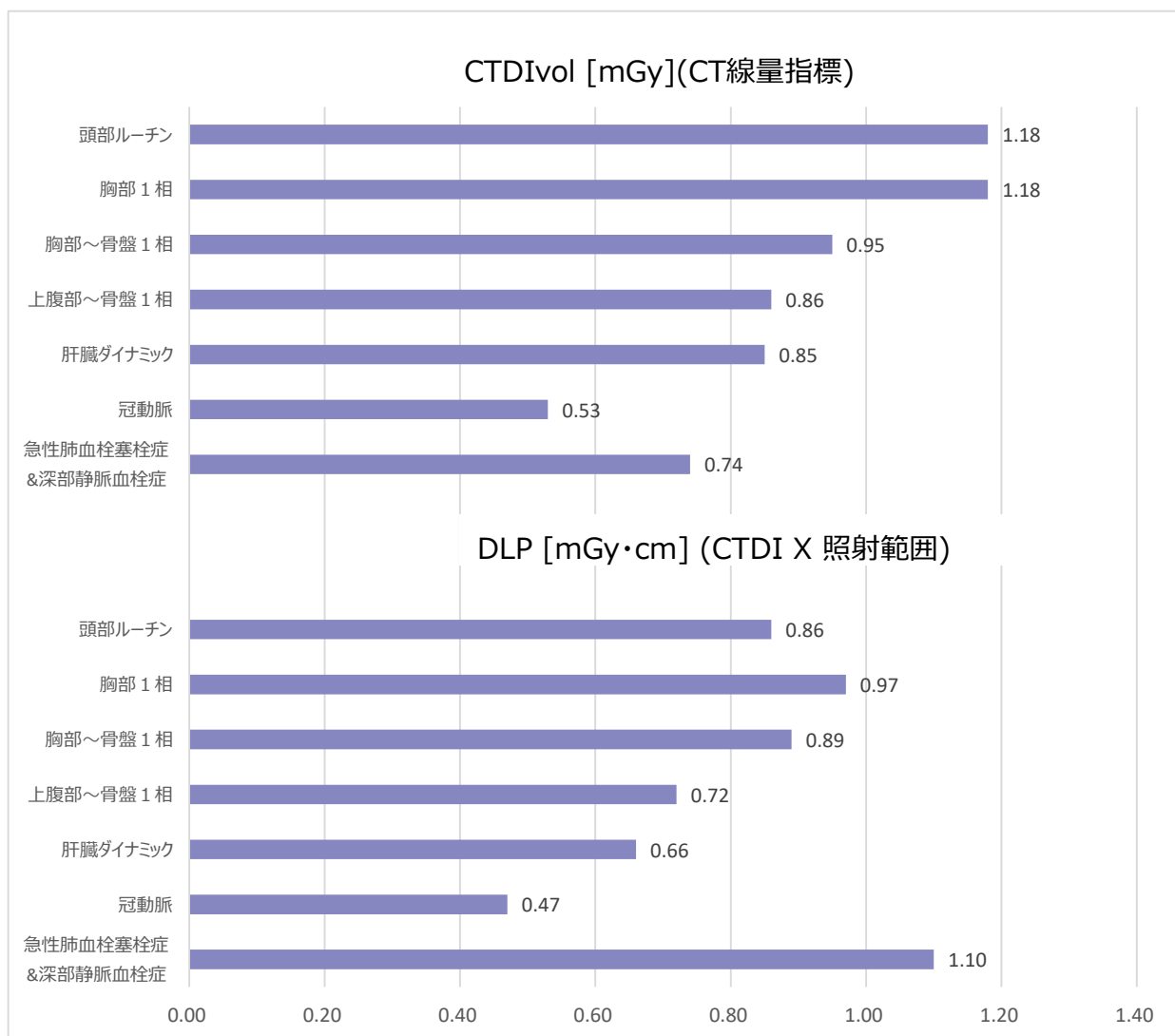


# CT検査におけるDRL値と当院放射線量の比

DRL値（診断参考レベル）は放射線検査の内容毎に使用されている線量の国内調査結果から得られた線量水準です。DRL値と当院の放射線量の比を求めることは検査プロトコルの見直しの優先順位を決める目安となります。



## 当院値の定義・算出方法

**分子：** 当院において個別の検査時に使用した放射線量の中央値

**分母：** 検査プロトコル毎のDRL値

## 改善策について

数値が高いプロトコル、特に1を超えるものは優先的に線量の再検討を行います。この結果、目的に応じて線量が最適化され、医療被曝の低減に繋がります。

文責：放射線部  
古賀 修